

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	1 1 2	学校名	仙台市立館小学校	校長名	安部 智和
------	-------	-----	----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ 「自然や環境と向き合う機会」



2 取組の紹介

(1) 直接触れ合い体験することによる学び

○緑化活動

今年度は美化委員会を中心に昇降口の花壇に花を植え、育てていく活動に取り組みました。昨年度と同様に夏にはマリーゴールドやサルビア、秋にはクロッカスやチューリップなど、その時期に適した花を植えました。また校舎周辺のボーダーガーデンには3年生が花を植えました。植物の生態系などについて知識として学ぶことも勿論大切ですが、このように自分たちで生命をはぐくんだ経験は実感のある記憶として児童の心に残り、将来にわたって自然愛護を考えていく素地になっていくのではないかと感じています。

○豊かな自然環境の活用

本校の西側には、畑や水田、ビオトープなどがある「グリーンパーク」があります。今年度も授業の中で生き物を観察・採集したり、畑や水田で植物を栽培したりと様々な場面で自然と触れ合っています。



(2) 自らで育てることを通しての学び

○サツマイモ栽培

今年度は、1年生・2年生でグリーンパークにサツマイモを植えました。春の植え付けから、秋の収穫まで自分たちで野菜を一から育てた経験から、命を育てることの難しさやそれらが実を結んだときの喜びを感じる様子が見られました。

○稲作体験

5年生は、総合的な学習の時間に水田で「ひとめぼれ」を栽培しました。稲干し・脱穀などの作業も自分たちで行い、そういった一つ一つの作業の難しさや大変さを実体験として学ぶことができました。近隣で米を栽培している農家の方が全面的に協力・支援をしてくださったことでこのような貴重な体験をする機会を得ることができました。



3 取組の成果

今年度も豊かな自然環境を生かし、直接体験を重視した取組を継続して行いました。一年を通して、継続的に活動していることで、児童の関心や意識も高まっており、雑草が伸びやすい夏季には、当番でなくても自発的に草取りをしたり、水やりをしたりする児童の姿も見られました。環境や自然を守ることのよさや大切さが伝わっている様子に心の成長も感じました。

